

第 77 回分析化学討論会 討論主題の趣旨及び依頼講演

討論主題 (6) --- 『品質保証を支える分析技術』

オーガナイザ：辻 幸一 (大阪市立大学) (代表者)

千葉光一 (関西学院大学)

メイド・イン・ジャパンと銘打った製品は国際的に高い評価を得ている。その高品質・高信頼性を支えているのは製品開発や製造工程で利用される分析技術である。各種製品の品質保証に関わる分析機器の適用例、標準物質の開発や国際標準化の現状について、材料、バイオ、製薬、食品などの広い分野から講演を募り、課題を明らかとし、解決に向けた方向性を探ることを目的とする。

【依頼講演】

高津章子 (産業技術総合研究所物質計測標準研究部門)

「バイオ・メディカル・食品分野における検査・分析結果の国際統合化を支える取り組み」

相本道宏 (新日鐵住金先端技術研究所)

「分析化学の観点からの鉄鋼製造プロセスの品質管理」

城 宏樹 (花王解析科学研究所)

「食用油中の新規微量成分分析法の開発と国際標準化」

桑本恵子 (堀場アドバンスドテクノ)

「医薬品の品質を保証するための pH・導電率の現状と課題」

中川勝博 (島津製作所分析計測事業部)

「食品の安全・品質保証のための GC/MS または GC/MS/MS を用いた分析—食品中残留農薬・ダイオキシン分析など—」

河野行雄 (東京工業大学科学技術創成研究院)

「テラヘルツイメージングによる非破壊検査や品質保証について」

※演題は変更する場合があります。講演順は未定です。

2017 年 1 月 18 日現在